

## 中学校第 5 回・高等学校第 56 回入学式の校長式辞

東洋大学附属牛久中学校高等学校 校長 遠藤隆二



4 月 9 日（火）午前 10 時から本校体育館において、2019 年度東洋大学附属中学校高等学校第 5 回中学校入学式、並びに第 56 回高等学校入学式が行われ、中学校に 47 名、高等学校に 527 名の生徒が入学しました。当日は、早朝の気温が 5℃と寒さが戻ったような朝で心配されましたが、昼頃には晴れ間が広がり、16℃と過ごし易い陽気になって入学式日和となり、ほっとしました。体育館前の「入学式会場」の立て看をバックに記念写真を撮る親子の列ができていました。当日の校長の式辞を、次の通り、紹介します。

春爛漫の今日の佳き日に、東洋大学理事長安齋隆様、PTA 会長千葉井豊様をはじめ、多数のご来賓の方々のご臨席を賜り、2019 年度東洋大学附属牛久中学校第 5 回入学式、並びに附属牛久高等学校第 56 回入学式を挙行できますことは、入学生、並びに保護者の皆様はもとより、私たち教職員一同、誠に光栄に存じます。心より厚く御礼申し上げます。

中学校の新生 47 名の皆さん、そして、高等学校の新生 527 名の皆さん、入学、おめでとう。東洋大学附属牛久中学校高等学校への入学を心より歓迎致します。保護者の皆様におかれましては、本日の我が子の凛々しい晴れ姿をご覧になり、頼もしさとともに我が子の明るい未来を感じ取られていることでしょう。お子様の本校へのご入学を、心よりお祝いし、お慶び申し上げます。

本校は東京大阪間に新幹線が開通し、東京オリンピックが開催された昭和 39 年、当時の牛久町の熱心な誘致運動が実を結んで創設された学校であります。本校は創設以来、地域の皆様に支えられ、期待される学校として発展して参りました。平成 27 年 4 月、「近くに私立中学校があればいいのに」という地域の皆様の声を支えに、牛久市内の 6 番目の中学校として附属牛久中学校を開校させました。この開校に伴い、本校は東洋大学附属牛久中学校高等学校として新たな歩みを始め、今年度、中学校は 5 年目、高等学校は 56 年目を迎えることができました。

本校は、東洋大学の建学の精神である「諸学の基礎は哲学にあり」を基本理念としております。

「様々な観点から深く考えなさい、考えに考え抜いて結論を出し、それを実践し、正しいかどうか、検証してみること、それがすべての学問の基礎ですよ。」そういう意味になります。この考えを基本理念に、「豊かな教養を身に付け、深く考える力ともの本質に迫る健全な批判精神を培い、将来、社会に貢献できる有意な人材の育成」を目指しています。そして、「志の高い、自ら考え自ら行動する意欲溢れる生徒の育成」に努めております。また、平成 26 年、文部科学省から「スーパーグローバルハイスクールアソシエイト校」に選定されたのを機会に、東洋大学との連携を深め、「グローバル教育」に力を入れております。

皆さんは、東京都、千葉県、そして、茨城県内の多くの中学校や高等学校の中から、この「東洋牛久」を選び、本校の中学校を受験した 116 名の代表として、また、本校の高等学校を受験した 1704 名の代表としてこの入学式に臨み、たった今、入学が許可され、本校の生徒となりました。今、皆さんは、「この東洋牛久で頑張るぞ！」と、決意を固めているものと思います。「初心忘れるべからず」、今のその決意を卒業するまで持ち続けてほしいと思います。私たち教職員は、皆さんの真摯な思いを、そして、皆さんのたゆまぬ努力を歓迎し、授業をはじめ、すべての学校生活の場で皆さんを積極的に支援し、サポートしていくことを先ずもってお約束致します。

穂積得也という詩人が、「未見の我」という詩を書いています。「未見の我」とは、「まだ自分のことが見えていない、まだ自分のことがよく分かっていない」という意味です。樫（かし）の木の「無数の葉」と言う単純な植物学的事実から、人間の個性の問題を鋭く暗示させるポエムであります。

「大森林の、何千億の樫の木の葉から、一番よく似た二枚の葉をとって、比べてみる

不思議だ、一枚だって同じものがないのだから」

私たち人間も、樫の木の葉のように、似ているようで一人一人みな違います。一人一人に個性があり、それぞれが違った能力と特技をもち、誰もがみな違う大きな可能性を秘めています。中学高校時代は、まだ先が見えていない、まだ分かっていない自分の個性や能力を発見し、それを育て鍛え、伸ばしていく大切な時期であります。このことについて、作家の山本有三は「路傍の石」という小説の中で、「たった一人しかいない自分の、たった一度しかない人生を生かさなかったら、人間生きてきた甲斐がないんじゃないか。」と言っています。「自分を生かす」ということは、「自分自身で自分の個性や能力を発見し、それを磨き伸ばして、自分にはもちろん、人のために、世のために活用していく」ということを、意味しています。そういう意味で、皆さんの本校での生活は、自分を生かし、自分を磨いて大人になっていく「自立への旅である」と言えましょう。

大人になる「自立の旅」では **Challenge**、**Consider**、**Control** の3つことが大切になります。何事にも **Challenge** をしないと、自分の個性や能力を発見し、鍛えて伸ばすことが出来ません。**Consider** は「良く考え、熟慮する」という意味ですが、良く考え、熟慮しないと、周囲に流され、自分のすべきことができず、思わぬ失敗をしてしまいます。そして、自分の感情や行動を自分自身で **control** しないと、社会生活の中でいい人間関係をつくるのが出来ません。このため、これからは、皆さんの生活信条の中に **Challenge**、**Consider**、**Control** の「3つのC」を加えて、「自立への旅」となる「本校での生活」を充実させてほしいと思います。これから、皆さんが本校での生活をするに当たって、特に大切だと思われることをお話します。

一つ目は、「本校で学ぶ、基本的な姿勢・態度・習慣を早く身に付けなさい」ということです。学校であれ、社会であれ、人間関係がスムーズにいかないと、毎日の生活を楽しく、充実させることはできません。このため、明るく、爽やかに声を掛合うようにしてください。おはようございます、今日は、さようなら、ありがとうございます、はい、いいえ・ちがいます、そう思います、どういたしまして・・・そういう明るい、爽やかな挨拶が大切です。そして、誠実な心と謙虚な姿勢で、先生や友達と接することが大切です。「一時間一時間の授業を大切に」「予習・復習をする」「人の話に耳を傾ける」「自分の考えをはっきり伝える」、そういう学ぶ者としての基本的な姿勢・態度・習慣は、確かな学力と豊かな教養を身に付けていく基盤になります。社会を生き抜いていく力は、「豊かでいい人間関係をつくる努力」「ルールを守り、ケジメをつけ、メリハリのある生活をする努力」「授業を大切に、毎日予習復習する努力」、そういう努力を一つ一つ積み重ねることによって高まり、強まっていくものです。学ぶ者としての、そのような基本的な姿勢・態度・習慣を早く身に付けるようにしてください。

二つ目は、「求める心・目標」をもって、大変さを厭わず、コツコツ努力しなさい、ということ。「どんなことでもやってみる」そういう積極的な求める心や姿勢から、それまで気づかなかった自分の能力や個性、特性を発見することができます。「求める心」がなければ、可能性を見つけ、伸ばすことができません。他人に聞くことは恥ではありません。待っているは駄目です。自ら積極的に求めることが大切です。勉強やスポーツには、厳しきや困難さ、苦しさなどが伴いますが、それを乗り越えた時にはじめて力がつくものです。実力をつけ、自分を高めるポイントは、つらさや大変さを厭わず、恥をかくことを畏れないことです。常に求める心をもって、困難なことや大変なことに向き合い、そこから逃げないことが大切です。

三つ目は、「時間を大切に、時間の使い方を工夫しなさい。」と、いうことです。

時間は誰にでも平等に与えられています。一日二十四時間、これをどう使うかは自由ですが、時間を「何に、どれだけ、どのように、使うのか」によって、皆さんの成長に大きな差が出てきます。自分にとって一番大切なことは何か、将来大切になることは何か、今直ぐにしなければならぬことは何か、などの基準をもって優先順位を決め、時間を「上手に使う」よう、工夫して下さい。

★学ぶ者としての基本的な姿勢、態度、習慣を早く身に付けなさい。

★求める心・目標をもって、大変さを厭わず、コツコツ努力しなさい。

★時間を大切に、時間の使い方を工夫しなさい。

★**Challenge**、**Consider**、**Control** の「3つC」を自分の生活信条の中に入れて下さい。

以上のことを心に留め、本校での節目節目に思い出し、確認するようにして下さい。そして、豊かな人間になれるよう、できるだけ多くの仲間と関わりをもって、互いに支え合い、学び合い、切磋琢磨する関係を創ってほしいと思います。学ぶ生徒としての何事にも一所懸命になることから、良き出会いが生まれ、生涯に渡る友人・親友を見つけることができます。本校での一日一日を大切に、自分で納得のいく、充実した悔いのない生活を送って下さい。皆さんの頑張り活躍を期待しています。

保護者の皆様 そして、ご来賓の皆様 本日は大変お忙しい中、入学式に立ち会って新入生を温かく励ましてくださり、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。今後とも、本校の教育にご理解とご協力、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。式辞といたします。